学校番号	2001

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	化学基礎　（数研出版）						
副教材等	大学入試共通テスト対策チェック＆演習化学基礎　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1 年次に学習した化学基礎の基本的な概念・原理の理解をさらに深め、化学の様々な現象やその法則を理解します。また、演習を通じて科学的な見方や考え方を身につけ、日常生活の中で生じる疑問や問題について、自分で考え、解決する能力を養って欲しいと思います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　演習を通じて化学的な事物・現象に関する基礎的な知識および基本的な概念や原理・法則を，深く系統的に理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
　演習を通じて化学の基本概念や原理・法則を具体的な物質の性質や反応と結び付けて理解し，活用する能力を身に付ける。また、物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化を微視的にとらえる見方や考え方を養いその内容を表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
　演習を通じて化学の学習内容が日常生活や社会とかかわることを知り、身近な物質とその変化への関心を高め、自覚をさらに深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象について，問題演習を通じ基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。	自然の事物･現象の中に問題を見出し，探究する過程を通して，事物を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	問題演習を通じて自然の事物･現象に関心をもち,意欲的にそれらを探究しようとするとともに,科学的態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の変化	物質量と化学反応式 酸と塩基の反応 酸化還元反応	a: 中和反応や酸化還元反応を化学反応式で表すことができる。 b: 化学反応式を用いて量的な計算を行うことができる。 c: 電池や電気分解など身近にある酸化還元反応に興味をもち、それを化学的に考察することができる。	定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 問題演習 発表	授業プリント 観察
2学期	物質の構成と化学結合	物質の構成 物質の構成粒子 粒子の結合	a: さまざまな結晶についてそれぞれの特徴や構造について理解する。 b: 周期表の中に周期律が見いだせること,周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づき,価電子の数と化学的性質の関連について説明できる。 c:さまざまな結晶について興味をもち、それぞれの結晶がどのような結合しているか考察しようとする。	定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 問題演習 発表	授業プリント 観察
3学期	化学が拓く世界	化学が拓く世界	a:食品保存や浄水場,化粧品などのくらしを支える技術と化学の結びつきについて理解する。 b: 化学基礎で学習した内容を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。 c: 化学基礎で学習した内容と環境問題との結びつきについて考察しようとする。	定期考査 小テスト 問題演習	定期考査 問題演習 発表	授業プリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度